



「時代とともに会社も変化していきます。財団法人時代は営業部がなく県内だけの展開でしたが、株式会社化によって事業の幅が広がりました。社員数は倍増し、現在は約140名の社員が働いています」と話すのは、2023年4月に代表取締役社長に就任した吉村文宏氏だ。

財団法人時代は、自治体の相談を待つ、受け身のスタイルだった。「今は時代のニーズやお客様の課題を読み取り、自らソリューションを提案しています」と、この15年の変化は大きい。合言葉は「ONE TEAM FOR PARTNER」。社員一人となり、お客様が心から喜ぶサービスの提供を追求している。

TOICのITエンジニアの多くは、未経験からのスタートだ。「文系、理系にこだわりはありません。重視しているのは入社後の『のびしろ』。社員の成長と会社の発展はイコールです」と社内外の研修参加や資格取得の助成など、教育支援は手厚い。「社員は会社の宝。お客様が安心していただけるサービスを提供するには、まず社員が安心して働ける環境でなくては」と産後の時短勤務や時間単位年休などの柔軟な働き方を導入。育児



2023年4月に代表取締役
に就任した吉村文宏氏。
働く環境を整えて社員の
幸福度向上を目指すほか、
「鳥取にもICTの仕事があ
ることを広く知ってほしい」と会社の認知度の向上にも取り組む

社員は会社の宝 のびしろに期待

休業は男性もほぼ100%取得している。

また、CSRの観点から地域を盛り上げたいと、複数の地元スポーツチームのスポンサーを務め、地域のお祭りや、『手話パフォーマンス甲子園』などの福祉、文化事業へのサポートにも積極的だ。

株式会社化から15年。吉村社長は「発展途上のまだまだ伸びる会社。社員の声を聞き、改革できる部分はどう進めたいです」と意気込む。まずは社内をリフォームし、役職や部署の枠を超えて交流しやすい環境を整える予定だ。「自治体のデジタル化が進む今は変革期。このチャンスに、ともに働く若い力を求めています」と力強く呼びかける。

株式会社 鳥取県情報センター

ICTを通じて地域の活性化 お客様も社員も幸せになれる会社

43
LEADING COMPANY

県内外の行政機関の 情報システムを支援

鳥取県内を中心に、全国の行政機関や公的機関の情報システムをサポートするIT企業《鳥取県情報センター(TOIC)》。鳥取市に本社を構え、今年15周年を迎えた。主に行政の事務作業を円滑化するためのITインフラの整備やシステム開発、さらに導入後の運用保守なども手がけている会社だが、実は歴史が古い。前身である《財団法人鳥取県情報センター》が誕生したのは1969年。当時は高額だった大型コンピュータを鳥取県と県内39市町村(当時)の自治体で共同利用し、行政事務のシステム化を支援することを目的に設立された。

平成以降は、コンピュータの低価格化、平成の大合併による市町村数の減少、公益法人制度改革などで体制を見直し、2008年に株式会社化。長年の行政業務に特化した知識や技術を生かし、全国の自治体に展開できるという判断によるものだった。その見直しは的中し、中国地方を中心に県外の行政・公的機関の新規開拓に成功。TOICの自治体向けクラウドサービスは全国200団体以上が使用し、今では姫路市や広島市にも支店を置く。



株式会社 鳥取県情報センター

事業内容

アプリケーション開発業務、インフラ構築運用業務、自治体システム構築運用業務、クラウドサービス提供業務、コンサルティングサービス など

創業 平成20 (2008) 年12月16日

代表者 代表取締役社長 吉村 文宏

社員数 141名 (男90名 女51名)

本社 鳥取県鳥取市寺町50

電話 0857-27-5070

採用エリア (勤務地)

鳥取市、米子市

採用担当者からあなたへ

私たちは「One Team for Partner」を合言葉に、お客様に真に喜んでいただけるサービスの提供を社員一丸となって行っています。研修・資格制度が充実しているので、文系理系問わず多くの社員が活躍中です！自由な発想でチームの活力となれる方をお待ちしています♪



総務部 竹内 真生さん

資料請求・お問い合わせ先

採用直通 TEL

0857-27-5070

採用直通 E-mail

saiyou@tori-info.co.jp

公式サイトはこちら



経験を積みスキルアップ

1年違いで入社した2人はソリューション開発部の期待の若手。部署では若手社員に自社のパッケージシステム開発の経験を積ませている。「お客様のニーズをくみ取り、すり合わせることも大事な作業」と声を合わせる。



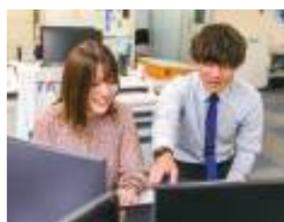
デスクワークだけじゃない!

SEとしてデスクワークも行うが、自治体の庁舎に足を運び、機械の設置や配線もあるのが部署の特色。「現場で実際にお客様と直接コミュニケーションを取れるので、その分達成感や充実感は大い」と淡野さん。



お客様をサポートする

ソリューション推進部は法律の改正に伴うプログラムの更新や、システム障害の対応、操作方法のサポートなどが主な仕事。配属後は、まずお客様からの問い合わせ対応を通じてどのような仕事があるか覚えていく。



文系出身でも、開発者として自社製品に携わっています

千崎さんと松本さんは鳥取県外の大学を卒業後、UターンしてTICに新卒入社した。「故郷で働きたいという気持ちが強く、将来性を考えてIT企業に絞りました」と千崎さん。松本さんも「IT系の仕事は場所に関係なくできます」と続く。ふたりとも文系学部出身。3か月間の新入社員研修を経て、現在の部署に配属後はOJTや研修で知識や技術を身に付けていった。

現在、ふたりは自社のパッケージシステムの開発に携わっている。「自社製品の開発に関わることができてうれしいです。責任は大きいですが、開発ス

キルや社会人としての成長を感じます」と松本さん。千崎さんも「チームで困難を乗り越えて、パッケージシステムがリリースされた時の達成感は大いだと思います」と醍醐味を語る。

千崎さんが「松本君は入社して早い時期からお客様対応をしていて、頼りになる後輩です。」と語りかけると、「千崎さんは質問するといつも優しく答えてくれる。僕もしっかり教えてあげられる先輩になりたいです」と松本さん。お互いの良いところを吸収して、成長を続けている。



ソリューション開発部
松本 悠佑さん 千崎ほのかさん
2020年新卒入社 2019年新卒入社



経験を重ねることで日々スキルアップしています!

鳥取大学工学部大学院出身の淡野さんと、米子工業高等専門学校出身の米原さん。ふたりとも情報技術を学んだが「学校の知識だけでは仕事はスムーズに進められないので、現場で経験を重ねることが大切」と声をそろえる。

ITインフラサービス部は、自治体の庁舎内のネットワークシステムやサーバなどの設計、構築、運用を担う。「デスクワークだけでなく機械の設置や配線も行い、現場仕事が3分の1を占めます」と淡野さん。米原さんは「勉強と現場で知識を増やし、設置した機器やシステムが思い通りに動いた時はうれし

いです」と成長を実感する。その姿に淡野さんも「新しいことに前向きに挑戦して、吸収力が高い。日々助けられています」と期待する。

淡野さん自身は2年ほど前にリーダーとなり、チームを率いる立場になった。「リーダーとして技術や人間性を磨き、コミュニケーションを大切に頼られる存在になりたいです」と意欲を燃やす。米原さんは「淡野さんはわかりやすく教えてくれて、チームのみんなをいつも気にかけてくれます。私も後輩から頼られる存在になりたいです」とその背中を追う。



ITインフラサービス部
淡野 元さん 米原 凜さん
2017年新卒入社 2022年新卒入社



どんどん知識を高め、成長し続けられる会社です!

ソリューション推進部は、システムの運用や保守といったお客様のサポートを行う。橋本侑樹さんは「地域に密着し、地元を支援できる仕事がしたい」と大阪からUターンし、他業種から中途入社した。「法改正に伴うアップデートもあるので、システムや法律など幅広く学ぶ必要があります。学ぶことは尽きず、スキルを高め続けられる仕事です」と充実した日々を送る。新卒入社の橋本彩良さんも、「未経験から育ててくれる会社。自分自身の成長につながると思い、入社を決めました」と話し、現在はお客様からの問い合わせ対応などを任されている。侑

樹さんは「新人でも堂々としていて、わからないことはわかるまで確認している」と感心する。それを聞き「いつも教えていただき、頼りになる先輩です。部署の皆さんもすごくフレンドリー。会社の雰囲気の良い所も入社理由のひとつです」とほほ笑む。「今は何をすることも先輩に聞いていますが、業務を覚えてひとり立ちしたいです」と彩良さん。侑樹さんも「知識を得るほどに、奥深さがあり面白い。周囲から一人前のSEと認められるよう成長したいです」と目標を掲げる。



ソリューション推進部
橋本 侑樹さん 橋本 彩良さん
2022年中途入社 2023年新卒入社

